

インテル® デスクトップ・ボード

BIOS 設定用語集 - メニュー別

BIOS セットアップ・プログラムを使用すると、コンピューターの BIOS 設定を閲覧、変更することができます。BIOS セットアップ・プログラムは、自己診断テスト (POST) のメモリーテスト開始後、オペレーティング・システムの起動前に<F2>キーを押すことにより起動します。以下のメニュー・オプションがあります。

メニューのタイトル	目的
Maintenance	パスワードのクリアーおよびプロセッサ情報の表示 <i>Maintenance</i> メニューはデスクトップ・ボードが <i>Configure</i> モードの場合のみ表示されます。
Main	プロセッサおよびメモリー構成の表示
Configuration	チップセットで利用できる高度な機能の設定
Performance	CPU、メモリー、およびバス設定の高度な設定
Security	パスワードおよびセキュリティー機能の設定
Power	電源管理機能および電源コントロールの設定
Boot	起動オプションの選択
Intel® ME	インテル® マネジメント・エンジンおよびインテル® アクティブ・マネジメン ト・テクノロジー (またはインテル® スタンダード・マネジメン ト・テクノロジー) 用オプションの設定
Exit	セットアップ・プログラム・オプション変更の保存または破棄

BIOS のメニューと設定は、お使いのボードのモデル、インストールされているハードウェアの構成要素、そして BIOS のバージョン等により異なります。BIOS メニューのタイトルが、異なる場合もあります。

BIOS 設定後に、何か問題 (性能の低下や、一時中断する等の問題) が発生したら、デスクトップ・ボードを、デフォルト値にセットし直してください。

1. 起動中に F2 を押し、BIOS のセットアップ画面に移動します。
2. F9 を押し、デフォルト値に設定します。
3. F10 を押し保存し、終了してください。

BIOS 設定の変更後に、システムがロックしたり、起動しない場合は、次のページの説明にしたがって BIOS リカバリーを実行してください:<http://www.intel.com/jp/support/motherboards/desktop/sb/CS-023360.htm>.

Boot

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Boot Device Priority	<ul style="list-style-type: none"> • Removable Devices • Optical Drive • Hard Disk Drive • Ethernet 	利用可能な起動デバイスについて起動する優先順位を指定。 オプションの一覧は使用中のボードモデルとハードウェア構成によって異なる場合があります。
Boot Drive Order	取り付けられている起動可能なデバイス	<p>利用可能な起動デバイスの種類から起動時の優先順位を指定</p> <p>検出されているデバイスすべてが一覧に表示され、ユーザーがデバイスの起動順序を変更可能。 BIOS は、この順序に従って各デバイスから起動を試みます。</p>
Boot Menu Type	<ul style="list-style-type: none"> • Normal • Advanced 	<p>Normal: デバイスの種類に基づいて起動優先順位を設定可能</p> <p>Advanced: カテゴリーに関係なく、個別のデバイスの起動優先順位を設定可能</p>
Boot to Network	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	ネットワーク (PXE) からの起動が有効か無効かを設定
Boot to Optical Devices	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	起動メディアとして CD/DVD が有効か無効かを設定
Boot to Removable Devices	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	起動メディアとしてリムーバブル・デバイスが有効か無効かを設定
Boot USB Devices First	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>Enable: BIOS は他のデバイスより先に対応 USB デバイスから起動を試行</p> <p>Disable: 通常の起動順序に従って起動</p>
Hard Drive Order	取り付けられているハードディスク・ドライブすべての一覧	<p>ハードディスク・ドライブの優先順位を指定 (Boot Menu type が Normal に設定されている場合に使用)</p> <p>一覧には検出されたハードドライブがすべてが表示され、ユーザーがデバイスの優先順位を変更可能。 ハードディスク・ドライブから起動する場合、BIOS はこの一覧の順序に従って起動を試行します。</p>
Optical Drive Order	取り付けられている光学ドライブ (CD/DVD) すべての一覧	光学ドライブ (CD/DVD) の優先順位を指定。 一覧には検出された光学ドライブがすべて表示され、ユーザーがデバイスの起動順序を変更可能。 光学ドライブから起動する場合、BIOS はこの一覧の順序に従って起動を試行します。
Removable Drive Order	取り付けられているリムーバブル・デバイスすべての一覧	<p>Boot Menu Type が Normal に設定されている場合リムーバブル・デバイス (FDD、USB メモリー、など) の優先順位を指定。</p> <p>一覧には検出されたリムーバブル・デバイスがすべて表示され、ユーザーがデバイスの起動順序を変更可能。 リムーバブル・デバイスから起動する場合、BIOS はこの一覧の順序に従って起動を試行します。</p>

UEFI boot	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>UEFI (Unified Extended Firmware Interface) Boot が有効か無効かを設定。容量が 2 TB (テラバイト) を超えるドライブで起動するためには、UEFI Boot が有効になっていなければなりません。</p> <p>Enable: BIOS は通常の起動手順を実行する前に、UEFI での起動を試行 Disable: BIOS は通常の起動手順を使用</p> <p>UEFI の詳細は次のウェブサイトを参照してください: http://www.uefi.org/home</p>
USB Boot	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>USB 起動デバイスからの起動が有効か無効かを設定</p>

Boot > Boot Display Options

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Display F10 to Enter Boot Menu	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>有効の場合、BIOS は “F10 to Enter Boot Menu” プロンプトを表示。このプロンプトが無効でも F10 キーの入力は有効です。</p>
Display F12 for Network Boot	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>有効の場合、BIOS は “F12 for Network Boot” プロンプトを表示。このプロンプトが無効でも F12 キーの入力は有効です。</p>
Display F2 to Enter Setup	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>有効の場合、BIOS は “Display F2 to Enter Setup” プロンプトを表示。このプロンプトが無効でも F2 キーの入力は有効です。</p>
Display F7 to Update BIOS	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>有効の場合、BIOS は “F7 to Update BIOS” プロンプトを表示。このプロンプトが無効でも F7 キーの入力は有効です。</p>
Display F9 for Remote Assistance	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>有効の場合、BIOS は “F9 for Remote Assistance” プロンプトを表示。このプロンプトが無効でも F9 キーの入力は有効です。</p> <p>この BIOS 設定は、リモート・アシスタント対応デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</p>
Expansion Card Text	<ul style="list-style-type: none"> • Disable • Enable • Hide all 	<p>Disable: BIOS は POST 中にマストレージ PCI オプション ROM からテキストのみを表示 Enable: BIOS は POST 中に任意の PCI オプション ROM のテキストを表示 Hide All: BIOS は POST 中に PCI オプション ROM のテキストを表示しない</p>
POST Code Routing	<ul style="list-style-type: none"> • Onboard • PCI 	<p>ポート 80h、84-86h、88h、8C-8Eh のルーティングを指定</p> <p>Onboard: BIOS POST コードをオンボード POST コード LED ディスプレイに送信 PCI: BIOS POST コードを PCI バス (PCI スロットに差し込まれている POST カード) に送信</p>
POST Function Hotkeys Displayed	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>有効の場合、BIOS は POST 中ファンクション・キーのプロンプトを表示。プロンプトが無効でもファンクション・キーの入力は有効です。</p>

Configuration > Event Log

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Clear Event Log	<ul style="list-style-type: none"> • Disable • Enable <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> • Yes • No 	Enable (Yes) はイベントログ中のすべてのイベントを破棄。このオプションは BIOS 終了時に Disable (No) にリセットされます。
Event Logging	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	イベントロギングの有効または無効を指定。有効の場合、BIOS は POST エラーを NVRAM に記録します。

Configuration > Fan Control & Real-Time Monitoring

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
All-On Temperature	数値	ファン・コントロール・サブシステムがファンの回転速度を最高速にする温度を定義
Control Mode	<ul style="list-style-type: none"> • Minimum • Off • Manual 	このヘッダーに接続されているファンの制御方法を指定 Minimum: ファンがそれ以下の速度では回転しない最小デューティ・サイクルを設定 Off: デューティ・サイクルを 0 に設定 Manual: デューティ・サイクルを特定の値に指定
Control Temperature	数値	ファン・コントロール・サブシステムがこのデバイスで維持する温度を指定
Current Duty Cycle	情報のみ	ファンの現在のデューティ・サイクル
Current Fan Speed	情報のみ	ファンの現在の回転速度を表示
Current Reading	情報のみ	温度センサーの場合: 現在の温度を表示 電圧センサーの場合: 現在の電圧を表示
Damping	<ul style="list-style-type: none"> • Low • Normal • High 	ファンの回転速度調整の変動を抑制。高に設定すると変動が少なくなりますが、少し遅れて温度調整が行なわれる場合があります。
Fan Type	情報のみ	検出されたファンの種類を表示

Fan Usage	<ul style="list-style-type: none"> • Unknown • CPU • System • MCH • VREG • Chassis • Inlet • Outlet • PSU • PSU In • PSU Out • HDD • Video • Aux • IOH • PCH • Memory 	このヘッダーに接続されているファンの用途を指定
Maximum Duty Cycle	数値	通常使用においてファンがそれ以上の速度では回転しない最大デューティー・サイクルを指定
Minimum Duty Cycle	数値	ファンがそれ以下の速度では回転しない最小デューティー・サイクルを指定
Over-Temperature Threshold	数値	その温度以上でランタイム・アプリケーションが警告を発することができる温度の閾値を指定
Over-Voltage Threshold	ユーザー定義	その電圧以上でランタイム・アプリケーションが警告を発することができる電圧の閾値を指定
Responsiveness	<ul style="list-style-type: none"> • Slow • Normal • Aggressive 	温度の変化に応じたファン回転速度の変化の応答速度を指定
Restore Default Configuration	Continue? (Y/N)	はい (Y) を選択すると、BIOS の Fan Control 設定が消去されて初期設定値がロードされます。 Fan Control 以外の BIOS セットアップには影響がありません。
Under-Speed Threshold	数値	ファンの回転数 (RPM) が設定値未満になった場合に警告を行う閾値を設定。 この警告を表示するには監視ユーティリティが必要で。
Under-Voltage Threshold	ユーザー定義	その電圧以下でランタイム・アプリケーションが警告を発することができる電圧の閾値を指定

Configuration > On-Board Devices

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
1394	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>IEEE 1394 サポートの有効または無効を指定</p> <p>この BIOS 設定は、IEEE 1394 搭載インテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</p> <p>IEEE 1394 の詳細については、次を参照してください： http://en.wikipedia.org/wiki/IEEE_1394</p>
Audio	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	オンボード・オーディオの有効または無効を指定

Bluetooth Wireless	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>オンボード無線・コントローラーの有効または無効を指定</p> <p>この BIOS 設定は Bluetooth 搭載インテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</p>
Enhanced Consumer IR	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>赤外線センサーポートの有効または無効を指定</p>
Floppy Controller	<ul style="list-style-type: none"> • Automatic • Enable • Disable 	<p>フロッピーディスク・ドライブ・コントローラーを設定。 1.44MB フロッピーディスク・ドライブのみに対応。</p> <p>Automatic: フロッピーディスク・ドライブが接続されている場合にオンボード FDD コントローラーを有効にします。</p>
Internal LED Brightness Level	<ul style="list-style-type: none"> • Off • Low • Med • High 	<p>デスクトップ・ボードの電源スイッチの明るさを指定</p> <p>この BIOS 設定は一部のエクストリーム・シリーズのインテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</p>
LAN	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>オンボード LAN コントローラーの有効または無効を指定</p>
Numlock	<ul style="list-style-type: none"> • Off • On 	<p>Numlock がオンの場合テンキーをデフォルトで数値入力にする</p>
Parallel Port	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>パラレルポートの有効または無効を指定</p>
PCI Latency Timer	<ul style="list-style-type: none"> • 32 • 64 • 96 • 128 • 160 • 192 • 224 • 248 	<p>バス・マスターに対して PCI 遅延時間を設定。 PCI デバイスがクロックサイクル中に PCI バスを確保する時間を制限します。 レガシー PCI デバイスにのみ適用。</p>
Secondary LAN	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>オンボードのセカンダリー LAN コントローラーの有効または無効を指定</p>
Serial Port	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>シリアルポートの有効または無効を指定</p>
Serial Port 2	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>2 つ目のシリアルポートの有効または無効を指定</p> <p>この BIOS 設定は、シリアルポートを 2 つ搭載したインテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</p>
Skull Backlighting	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>ボード上のドクロマークのバックライトの有効または無効を指定</p> <p>この BIOS 設定は一部のエクストリーム・シリーズのインテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</p>
Trusted Platform Module	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>トラステッド・プラットフォーム・モジュール (TPM) の有効または無効を指定</p> <p>この BIOS 設定はトラステッド・プラットフォーム・モジュール (TPM) 対応インテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</p> <p>TPM の詳細については、 http://en.wikipedia.org/wiki/Trusted_Platform_Module を</p>

		参照してください。
--	--	-----------

Configuration > On-Board Devices > Audio

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Front Panel Audio	<ul style="list-style-type: none"> • Auto • High Definition Front Panel • Legacy Front Panel • Disable 	<p>取り付けられているフロントパネル・オーディオの種類を自動または手動で選択</p> <p>Auto: 取り付けられているフロントパネル・オーディオの検出と種類の識別を試行する</p> <p>High Definition Front Panel: フロントパネル・オーディオを HD モードに設定する</p> <p>Legacy Front Panel: フロントパネル・オーディオをレガシーモードに設定する</p> <p>Disable: フロントパネル・オーディオを無効にする</p>
HDMI/Display Port Audio	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>Enable: HDMI/DisplayPort はオーディオとビデオの両方を出力</p> <p>Disable: HDMI/DisplayPort はビデオのみ出力</p>

Configuration > On-Board Devices > Parallel Port

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Mode	<ul style="list-style-type: none"> • Output only • Bi-directional • EPP • ECP 	<p>パラレルポートのモードを指定。このオプションはパラレルポートが有効な場合にのみ利用できます。</p> <p>Output Only: AT* 互換モードで動作</p> <p>Bi-directional: PS/2 互換*モードで動作</p> <p>EPP: 拡張パラレルポート・モード - プリンターでない周辺機器用の双方向高速モード</p> <p>ECP: Enhanced Capability Port モード - プリンターおよびスキャナー用の双方向高速モード</p>

Configuration > On-Board Devices > Skull Backlighting

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Skull Eye Hard Drive Activity	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>ハードドライブ動作に合わせたドクロの目の点灯を設定</p> <p>この BIOS 設定は一部のエクストリーム・シリーズのインテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</p>

Configuration > On-Board Devices > USB

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
USB 3.0 Controller	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>USB 3.0 ポートおよび USB 3.0 コントローラーすべての有効または無効を指定。USB 3.0 ポートはバックパネル上の青いポートで、図で USB* と表されています。</p>
USB Legacy	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>USB Legacy 対応の有効または無効を指定</p> <p>USB Legacy によって、USB を認識しないオペレーティング・システムで USB に対応します。USB Legacy を無効にしても、BIOS SETUP および Option ROM など BIOS POST 中の USB キーボードは無効になることはありません。</p>

USB Port x	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>個別の USB ポートの有効または無効を指定</p> <p>BIOS で無効に設定された USB ポートに接続されている場合、USB キーボードは POST およびセットアップの間は有効ですが、オペレーティング・システムが起動すると無効になります。</p> <p>キーボード以外のデバイスはすべて、POST、セットアップ、およびオペレーティング・システムの動作中も無効になります。つまり、無効に設定された USB ポートに接続されているドライブは、BIOS セットアップ中の起動順序に表示されません。</p>
------------	---	---

Configuration > PCI/PCIe Add-In Slots

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
FLR Capability	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>FLR (Function Level Reset : 機能レベルリセット) の有効または無効を指定し、PCH デバイスを個別にリセット</p>
PCI/PCIe Slot Information	情報のみ	<p>マザーボードのそれぞれのスロットに対して、以下の情報を 1 行表示</p> <ul style="list-style-type: none"> • スロット・ナンバー (ボードのシルクスクリーン表示と一致する必要があります) • スロットの種類 (PCI または PCIe) • PCIe スロット電気的帯域幅 • PCIe スロット・ネゴシエート帯域幅 • データ転送速度

Configuration > SATA Drives

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Chipset-SATA Mode	<ul style="list-style-type: none"> • IDE • RAID • AHCI 	<p>IDE: 互換モードで AHCI サポートを無効にする</p> <p>AHCI: ネイティブ・コマンド・キューイング (NCQ) など高度な SATA 機能に対応</p> <p>RAID : 複数のドライブを大容量のボリュームに統合してパフォーマンスおよび信頼性を向上。常に AHCI が有効になります。</p> <p>警告 : この設定をオペレーティング・システムのインストール後に変更すると、システムが起動しない場合があります。</p>
Detected Discrete-SATA Device	情報のみ	<p>Discrete SATA ポートに接続されているデバイスのデバイス識別文字列、容量 (GB)、ネゴシエート速度 (1.5 Gb/秒、3.0 Gb/秒、または 6.0 Gb/秒) を表示</p>
Detected SATA Drive	情報のみ	<p>SATA ポートに接続されているデバイスのデバイス識別文字列、容量 (GB)、ネゴシエート速度 (1.5 Gb/秒、3.0 Gb/秒、または 6.0 Gb/秒) を表示</p>
Discrete SATA	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>Discrete SATA コントローラーの有効または無効を指定</p> <p>BIOS 画面に表示される追加のヘルプテキストはボード固有です。</p>

Discrete SATA Mode	<ul style="list-style-type: none"> • IDE • RAID 	<p>IDE: 互換モードで RAID サポートを無効にする</p> <p>RAID: 複数のドライブを大容量のボリュームに統合してパフォーマンスおよび信頼性を向上する</p> <p>警告: この設定をオペレーティング・システムのインストール後に変更すると、システムが起動しない場合があります。</p>
eSATA Ports	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>External SATA (eSATA) ポートの有効または無効を指定</p> <p>eSATA の詳細については、次のリンクを参照してください: http://en.wikipedia.org/wiki/Esata#External_SATA</p>
Hard Disk Pre-Delay	<ul style="list-style-type: none"> • Disable • 3 Seconds • 6 Seconds • 9 Seconds • 12 Seconds • 15 Seconds • 21 Seconds • 30 Seconds 	<p>ハードドライブ初期化までの遅延時間 (秒)。この設定は BIOS スプラッシュ・スクリーンの表示時間の増減に使用できます。</p> <p>ボードによって表示される時間のオプションが異なる場合があります。</p>
No SATA Devices Detected	情報のみ	これは Discrete-SATA が有効なのに Discrete-SATA ポートにデバイスが検出されない場合に表示されます。
S.M.A.R.T.	<ul style="list-style-type: none"> • Auto • Disable • Enable 	<p>HDD の S.M.A.R.T. (Self Monitoring Analysis And Reporting Technology) モニター機能の有効または無効を指定。S.M.A.R.T. は現行のハードディスクすべてが対応している機能で、ハードディスク・エラーの兆候を事前に予測し、警告することができます。</p> <p>S.M.A.R.T. 対応ユーティリティを使用してハードディスクの状態を監視するには、この機能を有効にしてください。</p> <p>S.M.A.R.T. 機能の詳細については、次のリンクを参照してください。 http://en.wikipedia.org/wiki/Self-Monitoring,_Analysis,_and_Reporting_Technology</p>
SATA Port x	情報のみ	その SATA ポートに接続されているデバイスのデバイス識別文字列、容量 (GB)、ネゴシエート速度 (1.5 Gb/秒、3.0 Gb/秒、または 6.0 Gb/秒) を表示。デバイスが接続されていない場合には [Not Installed] という文字列が表示されます。

Configuration > Video

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Detected Video Device Priority	検出されたビデオ・デバイスの一覧	Primary Video Adaptor が Manual に設定されている場合、検出されたビデオデバイスの一覧がここに表示されて、起動中に使用するビデオデバイスの優先順位を指定できます。

<p>IGD DVMT Memory</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 32 MB • 64 MB • 128 MB • 256 MB • Maximum DVMT 	<p>ダイナミック・ビデオ・メモリー・テクノロジー (DVMT) - 統合グラフィックス・デバイス (IGD) ビデオに割り当てるシステムメモリー容量の選択</p> <p>インテル・ダイナミック・ビデオ・メモリー・テクノロジー 3.0 (DVMT 3.0) はアプリケーションの必要性に応じてグラフィックス用に追加のメモリーを割り当てることができます。そのアプリケーションが終了すると、そのグラフィックス用に割り当てられていたメモリーは解放されて、システムが使用します。</p> <p>利用可能なオプションはボードによって異なります。</p> <p>DVMT の詳細については、以下のリンクでインテル® グラフィックス・メディア・アクセラレーター 900 のホワイトペーパーを参照してください。 http://www.intel.com/design/chipsets/applnots/30262403.pdf</p>
<p>IGD Primary Video Port</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Auto • VGA Analog • DVI-I (Blue) • Analog DVI-I (Blue) • Digital DVI-D (White) • HDMI • LVDS • DisplayPort 	<p>システム起動時に使用する統合グラフィックス・デバイス (IGD) ディスプレイ・インターフェイスを選択</p> <p>Auto: 接続されているモニターの検出を試み、最大 2 つのポートでビデオを表示</p>
<p>IGD Secondary Video Port</p>	<ul style="list-style-type: none"> • None • VGA Analog • DVI-I (Blue) • Analog DVI-I (Blue) • Digital DVI-D (White) • HDMI • LVDS • DisplayPort 	<p>システム起動時に使用する、二重化された統合グラフィックス・デバイス (IGD) ディスプレイ・インターフェイスを選択</p>
<p>Integrated Graphics Device</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Enable if Primary • Always Enable • Always Disable 	<p>Enable if Primary: Primary Video Adaptor として指定されていない場合、統合グラフィックス・デバイス (IGD) は無効</p> <p>Always Enable: Primary Video Adaptor として指定されていなくても、IGD は常に有効</p> <p>Always Disable: 他にビデオ・デバイスが取り付けられていなくても、IGD は常に無効</p>
<p>No Video Detected Error Beeps</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>ビデオが検出されない場合に鳴るマザーボード搭載スピーカーのビープ音の有効または無効を指定</p>
<p>PAVP</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Lite • Disable 	<p>Protected Audio-Video Path (PAVP) は、ハードウェア・アクセラレーションによるオーディオ/ビデオ・デコードを用いてコンテンツを保護します。これには PAVP 対応プロセッサ/チップセットが必要です。この項目は BIOS セットアップには表示されません。これは Intel® Integrator Toolkit (ITK) からのみアクセス可能な項目です。</p>

Primary Video Adapter	<ul style="list-style-type: none"> • Auto • Int Graphics (IGD) • Ext PCIe Graphics (PEG) • Ext PCI Graphics • Manual 	<p>システム起動時にアクティブとなるディスプレイ・デバイスとして、特定のビデオ・コントローラーを選択</p> <p>システムの構成によって利用可能なオプションが異なる場合があります。</p>
-----------------------	---	--

Configuration > Video > LVDS Settings

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Maintain Aspect Ratio	<ul style="list-style-type: none"> • Yes • No 	<p>グラフィックス・ドライバーの初期化の前にアスペクト比を選択</p> <p>Yes: ネイティブのアスペクト比 No: フルスクリーン</p> <p>この BIOS 設定は、LVDS 対応インテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</p>
Screen Brightness	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>パネル・バックライトの輝度設定の有効または無効を指定</p> <p>この BIOS 設定は、LVDS 対応インテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</p>

Exit

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Discard Changes	Continue? (Y/N)	セットアップ・プログラムを終了せずに変更を破棄。コンピューターの電源が投入された時点のオプション値が使用されます。
Exit Discarding Changes	Continue? (Y/N)	BIOS セットアップ・プログラムで行った変更を保存せずに終了
Exit Saving Changes	Continue? (Y/N)	すべての変更を保存し、BIOS セットアップを終了
Load Custom Defaults	Continue? (Y/N)	BIOS はセットアップ・デフォルトをロード。ユーザーのカスタム・デフォルトがある場合、ユーザーのデフォルトを使用します。
Load Optimal Defaults	Continue? (Y/N)	BIOS はセットアップ・デフォルトをロード。OEM カスタム・デフォルトがある場合はそちらが使用されます。この項目は、F9 BIOS Setup ホットキーと同等であり、BIOS Passwords、HD Passwords、および Intel® ME メニューの項目には影響を与えません。
Save Custom Defaults	Continue? (Y/N)	既存の設定値をユーザーのカスタム・デフォルトとして保存

Intel® ME

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Change Intel® Management Engine Password	ユーザー定義	他の ME オプションへアクセスする前に、Intel® ME パスワードをデフォルトのパスワードから変更する必要があります。 システムの所有者は新しい Intel ME パスワードを記録し、安全な場所 (保管室、貸金庫、または敷地外の保管室など) に保存して、将来利用可能な状態にしておいてください。この記録は、パスワードに変更が加えられる度に更新する必要があります。
Enter Intel® Management Engine Password	ユーザーの入力	Intel® ME ページのその他のオプションにアクセスするには、Intel® ME パスワードの入力が必要です。

Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Partial Intel® AMT Reset	Continue? (Y/N)	Intel® AMT の設定を工場既定値にリセット。ただし、Intel® ME パスワード、PSK (PID/PPS)、ドメイン名、ホスト名はリセットしません。
Set PRTC	ユーザー定義	Intel® AMT PRTC (Protected Real Time Clock) の設定 グリニッジ標準時 (GMT) フォーマットで PRTC を入力: YYYY:MM:DD:HH:MM:SS
Setup and Configuration Mode	<ul style="list-style-type: none"> • Local • Remote 	Local: サーバーと通信せずに AMT 設定を実行 Remote: サーバーとの通信により AMT 設定を実行

Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > KVM Configuration

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Enable KVM	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	Enable: キーボード、マウス、ビデオの IP 経由の転送を許可。ビデオはローカル・クライアントからリモート・コンソールに転送され、キーボードとマウスはリモート・コンソールからローカル・クライアントに転送されます。 Disable: KVM 機能の無効化
Remote Control of Opt-in Policy	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	Enable: リモートユーザーによるユーザー・オプトイン・ポリシーの設定を許可 Disable: リモートユーザーによるユーザー・オプトイン・ポリシーの設定を許可しない
User Consent for Opt-in Session	<ul style="list-style-type: none"> • Required • Not Required 	Required: KVM セッションのリモート実行にローカルユーザーの同意を要求 Not Required: リモート実行の許可にローカルユーザーの同意を必要としない

Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Computer Name	ユーザー定義	コンピューター名の設定
Domain Name	ユーザー定義	ドメイン名の設定 (コンピューターが接続しているネットワーク名)
Dynamic DNS TTL	数値	Dynamic DNS Update が有効な場合、DDNS (Dynamic DNS) の TTL (Time-To-Live) 値を設定。0 に設定した場合、この値は内部既定値の 15 分間または DHCP リース期間の 3 分の 1 となります。
Dynamic DNS Update	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	Enable: インテル® ME はダイナミック DNS アップデート・プロトコルを使用し、その DNS (Domain Name System) 内で IP アドレスおよび FQDN (完全修飾ドメイン名 : Fully Qualified Domain Name) の登録を試行する Disable: インテル® ME は DNS の更新を試行しない。 IPv6 の DDNS (ダイナミック DNS) には専用の FQDN が必要です。
Periodic Update Interval	数値	Dynamic DNS Update が有効の場合、この値で DDNS (Dynamic DNS) アップデートの送信間隔を指定
Shared/Dedicated FQDN	<ul style="list-style-type: none"> • Shared • Dedicated 	Shared: インテル® ME はホスト OS と FQDN (完全修飾ドメイン名) を共有 Dedicated: FQDN はインテル® ME 専用

Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration > IPv4 TCP/IP Configuration

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Alternate DNS Address	ユーザー定義	ドット付き 10 進記法でアドレスを入力 (例 : 255.255.255.0)
Default Gateway Address	ユーザー定義	ドット付き 10 進記法でアドレスを入力 (例 : 255.255.255.0)
DHCP	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	インテル® ME の DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) の有効または無効を指定

IPv4 Address	ユーザー定義	ドット付き 10 進記法でアドレスを入力 (例 : 192.168.0.10) DHCP が無効の場合 IP アドレスはホスト OS の IP アドレスと別のアドレスにする必要があります。
Preferred DNS Address	ユーザー定義	ドット付き 10 進記法でアドレスを入力 (例 : 255.255.255.0)
Subnet Mask	ユーザー定義	ドット付き 10 進記法でアドレス・マスクを入力 (例 : 255.255.255.0)

Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration > IPv6 TCP/IP Configuration

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Alternate DNS IPv6 Address	ユーザー定義	有効なアドレスを入力 (例 : 1122:3344:5566:7788:99AA:BBCC:DDEE:FF00)
Enable IPv6	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>Enable: インテル® ME の IPv6 アドレスは、ホスト OS とは共有されずインテル® ME 専用</p> <p>Disable: インテル® ME はホスト OS と IPv6 アドレスを共有</p>
IPv6 Address	ユーザー定義	有効なアドレスを入力 (例 : 1122:3344:5566:7788:99AA:BBCC:DDEE:FF00)
IPv6 Default Router	ユーザー定義	有効なアドレスを入力 (例 : 1122:3344:5566:7788:99AA:BBCC:DDEE:FF00)
IPv6 Interface ID	<ul style="list-style-type: none"> • Random ID • Intel ID • Manual ID 	<p>Random ID: ランダムに ID を生成</p> <p>Intel ID: MAC アドレスから ID を生成</p> <p>Manual ID: ユーザー入力の 64 ビットの有効な値</p>
IPv6 Manual Interface ID	ユーザー定義	IPv6 Interface ID が Manual ID に設定されている場合 64 ビットの値を入力 (例 : 1122:3344:5566:7788)

Preferred DNS IPv6 Address	ユーザー定義	有効なアドレスを入力 (例 : 1122:3344:5566:7788:99AA:BBCC:DDEE:FF00)
----------------------------	--------	--

Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Delete TLS Pre-Shared Key (PSK) PID/PPS	Continue? (Y/N)	再度プログラムできるように TLS Pre-Shared Key (PSK) PID/PPS を削除
Fully Qualified Domain Name (FQDN)	ユーザー定義	特定プロビジョニング・サーバーの完全修飾ドメイン名 (FQDN)。 FQDN にはホスト名とドメイン名の両方が必要です。
PKI DNS Suffix	ユーザー定義	PKI (Public Key Infrastructure) 用の Domain Name System サフィックス。 この値はプロビジョニング・サーバーの証明書で FQDN を検証するために使用されます (例 : name.com)
Provisioning Mode	情報のみ	現在のプロビジョニング・モードを表示 : PKI または PSK のいずれか
Provisioning Server Address IPv4/IPv6	ユーザー定義	ドット付き 10 進記法で IP アドレスを入力。 例 : 192.168.0.10
Provisioning Server Mode	<ul style="list-style-type: none"> • OTC uses TLS-PSK • Remote Configuration uses TLS-PKI 	TLS- PSK (Transport Layer Security with Pre-Shared Key) を使用する OTC (ワンタッチ設定) か、またはインテル® AMT 導入ポリシーに基づいた TLS-PKI (Transport Layer Security with Public Key Infrastructure) を使ったりモード設定かを選択
Provisioning Server Port	数値	プロビジョニング・サーバー用のポート番号を入力。ポート番号の範囲 (0 - 65535)
TLS Pre-Shared Key (PSK) PID	ユーザー定義	<p>PID (プロビジョニング ID) はダッシュで区切られた 8 桁の英数字列 (例 : ABCD-123K)。</p> <p>安全な TLS-PSK セッションの確立には PID と PPS (プロビジョニング・パスフレーズ) の両方の設定が必要</p>

TLS Pre-Shared Key (PSK) PPS	ユーザー定義	<p>PPS (プロビジョニング・パスフレーズ) はダッシュで区切られた 32 桁の英数文字列 (例: EGET-GZFF-C6A6-ORRR-HQXP-C9JI-RJGB-KBS8)</p> <p>安全な TLS-PSK セッションの確立には PID (プロビジョニング ID) と PPS の両方の設定が必要</p>
------------------------------	--------	--

Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration > Manage Permanent Certificates

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Active Certificate	<ul style="list-style-type: none"> • Yes • No 	<p>証明書ハッシュが有効かどうかを決定。有効な証明書はリモート設定の PKI プロセスで使用できます。</p> <p>Yes: 有効 No: 無効</p>
Certificate Algorithm	情報のみ	証明書アルゴリズムを表示: SHA1、SHA256、または SHA384 のいずれか
Hash Value	情報のみ	恒久的証明書またはユーザー定義証明書のハッシュ値を表示
Permanent Certificate Name	情報のみ	恒久的証明書の名前を表示

Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration > Manage User Defined Certificates

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Active Certificate	<ul style="list-style-type: none"> • Yes • No 	<p>証明書ハッシュが有効かどうかを決定。有効な証明書はリモート設定の PKI プロセスで使用できます。</p> <p>Yes: 有効 No: 無効</p>

Certificate Algorithm	<ul style="list-style-type: none"> • Empty • SHA1 • SHA256 • SHA384 	アルゴリズムの種類と生成された証明書ハッシュは一致する必要があります。
Hash Value	情報のみ	恒久的証明書またはユーザー定義証明書のハッシュ値を表示
User Hash Certificate #x	ユーザー定義	証明書ハッシュの追跡に使用される、判読可能な一意の ID。 英数字の入力がサポートされます。

Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > SOL/IDER Configuration

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Redirection Mode	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	リダイレクション・モードの有効または無効を指定 AMT 5.0 以前のバージョン向けの古い SMB リダイレクション・コンソールを使用している場合、リダイレクション・モードは有効にする必要があります。
SOL/IDER Authentication Mode	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	IDER と SOL が LAN 上のインターフェイスを確認し、セキュリティを確保する方法を選択 Enable: Kerberos 認証を要求 Disable: ユーザー名とパスワードによる認証を許可

Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > View Provisioning Record

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Cert. Serial Number	情報のみ	証明書のシリアル番号を表示
Cert. Type	情報のみ	証明書の種類を表示 : User Defined、Permanent Default、Not Defined のいずれか
Date	情報のみ	プロビジョニング日を表示

BIOS 設定用語集 - メニュー別

Hash Data	情報のみ	ハッシュデータを表示
Hash Type	情報のみ	ハッシュの種類を表示： MD5、SHA1、SHA256、SHA512、Not Defined のいずれか
Host Initiated	情報のみ	ホストの開始状態を表示： Yes、No、Invalid のいずれか
Mode	情報のみ	プロビジョニング・モードを表示： TLS-PSK、TLS-PKI、Not Defined のいずれか
Provisioning Record Details	情報のみ	以下のプロビジョニング情報を表示： <ul style="list-style-type: none"> • Mode • Server IP Address • Server FQDN • Date • Time Validity Pass • Secure DNS • Host Initiated • Hash Data • Hash Type • Cert. Serial Number • Cert. Type
Secure DNS	情報のみ	Secure DNS を表示： Yes、No、Invalid のいずれか
Server FQDN	情報のみ	プロビジョニング・サーバーの FQDN を表示
Server IP Address	情報のみ	プロビジョニング・サーバーの IP アドレスを表示
Time Validity Pass	情報のみ	時間有効性合格の表示： Yes、No、Invalid のいずれか

Intel® ME > Intel® Management Engine Configuration

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Deep S4/S5	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>ディープ S4/S5 の有効または無効を指定</p> <p>この設定を有効にすると S4/S5 スリープ状態での消費電力を低減できますが、S4/S5 状態からの復帰には電源ボタンまたは RTC アラームが必要となります。</p>
Idle Timeout	ユーザー定義	<p>0 ~ 65535 の値で、インテル® ME がスリープ状態になるまでのアイドル時間 (分) を設定。</p> <p>既定値の 0 に設定すると、インテル® ME はスリープ状態にならず、省電力効果も得られません。</p> <p>このオプションは <i>Turn on Intel® ME in Sleep States</i> が有効な場合にのみ表示されます。</p>
Manageability Feature	<ul style="list-style-type: none"> • None • Intel® AMT • Intel® Standard Manageability 	<p>None: 既定値。この設定を使用するとオンボード LAN の有効/無効を切り替えられる</p> <p>Intel® AMT: インテル® アクティブ・マネジメン・テクノロジーを有効にします。詳細は次のページを参照してください： http://www.intel.com/jp/technology/platform-technology/intel-amt/</p> <p>Intel® Standard Manageability: スタンダード・マネージャビリティを有効にする</p> <p>AMT またはスタンダード・マネージャビリティ・オプションは、システムに取り付けられているプロセッサ/チップセットに依存します。</p>
ME Wake from S3, S4, S5	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>システムのスリープ状態におけるインテル® ME の状態を決定</p> <p>Enable: S3、S4、S5 スリープ時に ME が復帰可能</p> <p>Disable: S3、S4、S5 スリープ時に ME は復帰できない</p>

Main

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Active Processor Cores	<ul style="list-style-type: none"> • All • 1 • 2 	<p>それぞれのプロセッサ・パッケージで有効にするコア数を選択</p> <p>この BIOS 設定はマルチコア・プロセッサ搭載システムにのみ表示されます。</p>
BIOS Version	情報のみ	現在インストールされている BIOS のバージョンを表示
Host Clock Frequency	情報のみ	ホストのクロック周波数 (MHz) の既定値を表示

<p>Intel® Hyper-Threading Technology</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>ハイパースレッディング・テクノロジーの有効または無効を指定</p> <p>無効にすると、アクティブなコア 1 つに対して 1 つのスレッドしか実行できなくなります。</p> <p>この BIOS 設定は、ハイパースレッディング・テクノロジー対応プロセッサの場合ハイパースレッディング・テクノロジーに対応したインテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</p> <p>ハイパースレッディングの詳細については、以下を参照してください。 http://en.wikipedia.org/wiki/Hyperthreading</p>
<p>L3 Cache RAM</p>	<p>情報のみ</p>	<p>搭載プロセッサの L3 キャッシュ・メモリの合計サイズを表示 (MB)</p> <p>この設定は L3 キャッシュ対応プロセッサを搭載したシステムにのみ表示されます。</p>
<p>Memory Channel x Slot y</p>	<p>情報のみ</p>	<p>チャンネル x スロット y に取り付けられているシステムメモリのサイズを表示 (GB)</p> <p>マザーボードに搭載されているそれぞれのメモリスロットに対して 1 行が表示されます。表示順はプロセッサからメモリスロットまでの距離に基づいており、プロセッサに最も近いスロットが最初に表示されます。</p> <p>例： Memory Channel A Slot 0 2 GB Memory Channel B Slot 0 1 GB</p>
<p>Memory Speed</p>	<p>情報のみ</p>	<p>現在のメモリー速度を表示。これは現在のホストクロック周波数 x メモリー周波数倍率として算出されます。</p>
<p>Overridden Host Clock Frequency</p>	<p>情報のみ</p>	<p>現在のホストクロック周波数を表示</p> <p>この BIOS 設定は、Host Clock Frequency がデフォルト以外の値になっているインテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</p>
<p>Overridden Memory Speed</p>	<p>情報のみ</p>	<p>現在のメモリー速度を表示。これは現在のホストクロック周波数 x メモリー周波数倍率として算出されます。</p> <p>この BIOS 設定は、Host Clock Frequency と Memory Multiplier がデフォルト以外の値になっているインテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</p>
<p>Overridden Processor Speed</p>	<p>情報のみ</p>	<p>現在の設定におけるプロセッサの最大動作速度を表示。これは現在のホストクロック周波数 x 最大非ターボ比率として算出されます。</p> <p>この BIOS 設定は Host Clock Frequency または Maximum Non-Turbo Ratio のデフォルト設定が変更されているインテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</p>

Overridden Processor Turbo Speed	情報のみ	<p>現在の設定におけるプロセッサの最大動作速度を表示。これは現在のホストクロック周波数 x 1 コアのアクティブ・ターボ比率として算出されます。</p> <p>この BIOS 設定は <i>Host Clock Frequency</i> または <i>Turbo Ratios</i> のデフォルト設定が変更されているインテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</p>
Processor Turbo Speed	情報のみ	<p>現在の設定におけるプロセッサの最大動作速度を表示。これは現在のホストクロック周波数 x 1 コアのアクティブ・ターボ比率として算出されます。</p>
Total Memory	情報のみ	<p>搭載されているシステムメモリーの合計容量を表示 (GB)</p>
L2 Cache RAM	情報のみ	<p>搭載プロセッサの L2 キャッシュ・メモリーの合計容量を表示 (MB)。搭載プロセッサがマルチコアの場合、コア数 x コアごとの L2 キャッシュと表示されます。</p> <p>この設定は搭載プロセッサが L2 キャッシュに対応している場合にのみ表示されます。</p>
Processor Speed	情報のみ	<p>現在の設定におけるプロセッサの最大動作速度を表示。これは現在のホストクロック周波数 x 最大非ターボ比率として算出されます。</p>
Processor Type	情報のみ	<p>CPUID 命令から取得したプロセッサ・ブランド文字列を表示</p>
System Date	月、日、年	<p>リアルタイム・クロック (RTC) の System Date の表示および変更。</p> <p>RTC Date は [MM/DD/YYYY] フォーマットで表示されます。Tab キーによって各フィールドを選択し、+ キーと - キーを使用して選択フィールドの値を増減します。変更すると、Save & Exit Setup または F10 キーの使用まで待たずに RTC に即座に反映されます。RTC が無効な日付を報告した場合や、バッテリーまたは CMOS チェックサム・エラーが生じた場合のみ、既定値の日付がロードされます。他の Setup 既定値がロードされた場合 (F9 キーなど) には、既定の日付はロードされません。</p>
System Time	時間、分、秒	<p>リアルタイム・クロック (RTC) の System Time の表示および変更。</p> <p>RTC Time は 24 時間フォーマット [HH:MM:SS] で表示されます。Tab キーによって各フィールドを選択し、+ キーと - キーを使用して選択フィールドの値を増減します。変更すると、Save & Exit Setup または F10 キーの使用まで待たずに RTC に即座に反映されます。RTC が無効な時刻を報告した場合や、バッテリーまたは CMOS チェックサム・エラーが生じた場合のみ、既定値の時刻がロードされます。他の Setup 既定値がロードされた場合 (F9 キーなど) には、既定の時刻はロードされません。</p>

Main > System Identification Information

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Microcode Update Revision	情報のみ	32 ビット・プロセッサのマイクロコード・アップデート・リビジョンを 16 進数で表示
Onboard LAN MAC Address	情報のみ	オンボード LAN デバイスの MAC アドレスを 16 進数で表示
Processor Family x Model y Stepping z	情報のみ	プロセッサ・ファミリー、モード、ステッピング情報 (拡張ファミリー/モデルを含む) を 16 進数で表示。これらは、CPUID 命令の EAX レジスター出力から、EAX が 1 にセットされている時に取得します。
Processor Signature	情報のみ	32 ビットのプロセッサ・シグネチャーを 16 進数で表示。これは、CPUID 命令の EAX レジスター出力から、EAX が 1 にセットされている時に取得される

Main > System Identification Information > Chassis Information

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Asset Tag	情報のみ	SMBIOS タイプ 3 ストラクチャーからシャーシのアセットタグ文字列を表示
Manufacturer	情報のみ	SMBIOS タイプ 3 ストラクチャーからシャーシの製造元文字列を表示
Serial Number	情報のみ	SMBIOS タイプ 3 ストラクチャーからシャーシの製造元シリアル番号文字列を表示
Version	情報のみ	SMBIOS タイプ 3 ストラクチャーからシャーシの製造元文字列を表示

Main > System Identification Information > Desktop Board Information

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Manufacturer	情報のみ	SMBIOS タイプ 2 ストラクチャーからボードの製造元文字列を表示
Product Name	情報のみ	SMBIOS タイプ 2 ストラクチャーからボードの製品名文字列を表示
Serial Number	情報のみ	SMBIOS タイプ 2 ストラクチャーからボードのシリアル番号文字列を表示
Version	情報のみ	SMBIOS タイプ 2 ストラクチャーからボードのバージョン文字列を表示

Main > System Identification Information > Intel® Management Engine Information

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Firmware Version	情報のみ	現在インストールされているインテル® ME ファームウェアのバージョンを表示 この BIOS 設定はインテル® マネジメント・エンジン (インテル® ME) 対応ボードにのみ表示されます。

Main > System Identification Information > System Information

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Manufacturer	情報のみ	SMBIOS タイプ 1 ストラクチャーからシステムの製造元文字列を表示
製品名	情報のみ	SMBIOS タイプ 1 ストラクチャーからシステムの製品名文字列を表示
Serial Number	情報のみ	SMBIOS タイプ 1 ストラクチャーからシステムのシリアル番号文字列を表示
Version	情報のみ	SMBIOS タイプ 1 ストラクチャーからシステムのバージョン文字列を表示

Maintenance

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Clear BIOS Passwords	Continue? (Y/N)	選択すると BIOS スーパーバイザー・パスワードと BIOS ユーザーパスワードをクリアします。 その他の BIOS 関連パスワード (インテル® ME、ハードドライブなど) はクリアしません。
Clear Trusted Platform Module	<ul style="list-style-type: none"> • No • Yes 	<p>保管されている暗号化キーをすべて消去し、TPM の所有者をクリアします。 この項目は、プラットフォームの所有権を新しい所有者に譲渡する場合に TPM をクリアするために使用します。</p> <p>この BIOS 設定は、トラステッド・プラットフォーム・モジュール (TPM) をサポートしており、かつ TPM が有効になっているインテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</p> <p>詳細については、「トラステッド・プラットフォーム・モジュール・クイックリファレンス・ガイド」を参照してください。</p>
DIMM n (Memory Channel x Slot y)	情報のみ	<p>搭載システムメモリー DIMM n (チャンネル x スロット y) の搭載システムメモリーの容量 (GB) を表示 (例: 2 GB)</p> <p>マザーボードに搭載されているそれぞれのメモリースロットに対して 1 行が表示されます。 表示順はプロセッサからメモリースロットまでの距離に基づいており、プロセッサに最も近いスロットが最初に表示されます。 DIMM 番号はメモリー読み込みの推奨順に基づいており、ボードのシルクスクリーンと一致しなければな</p>

		りません。
Reset Intel® AMT to default factory settings	Continue? (Y/N)	インテル® AMT の設定を工場既定値にリセット。選択すると、BIOS で AMT の設定が無効になり、既定のインテル® ME 設定がロードします。
Reset Intel® Standard Manageability to default factory settings	Continue? (Y/N)	インテル® スタンダード・マネージャビリティの設定を工場既定値にリセット。選択すると、BIOS でスタンダード・マネージャビリティの設定が無効になり、既定のインテル® ME 設定がロードされます。

Performance

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Core Max Multiplier	情報のみ	コア周波数倍率の既定値、理論値、および現在値を表示
Failsafe Watchdog	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>Failsafe Watchdog の有効または無効を指定</p> <p>Failsafe Watchdog が有効な場合、起動エラーが生じた後にシステムが再起動して、前回ユーザーが設定した値を使用して BIOS セットアップ・プログラムに戻ります。</p>
Host Clock Frequency (MHz)	数値	<p>ホストクロック周波数 x プロセッサ周波数倍率 = プロセッサ動作速度</p> <p>ホストクロック周波数 x メモリー周波数倍率 = メモリー動作速度</p> <p>注：より高いベースクロック周波数での安定性を向上させるには、プロセッサ周波数倍率またはメモリー周波数倍率は抑えてください。</p>
Host Clock Frequency Override	<ul style="list-style-type: none"> • Automatic • Manual 	<p>Manual: ホストクロック周波数の設定を変更</p> <p>この BIOS 設定はホストクロック周波数の変更が可能なインテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</p>
Intel® Turbo Boost Technology	情報のみ	インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーのステータスの既定値、理論値、および現在値を表示

Memory	情報のみ	メモリー電圧の既定値、理論値、および現在値を表示
Multiplier	情報のみ	メモリー周波数倍率の既定値、理論値、および現在値を表示
PCH Core	情報のみ	PCH コア電圧の既定値、理論値、および現在値を表示
Processor Core	情報のみ	プロセッサ・コア電圧の既定値、理論値、および現在値を表示
Processor System Agent	情報のみ	プロセッサ・システム・エージェント電圧の既定値、理論値、および現在値を表示
Speed	情報のみ	プロセッサの場合：プロセッサ動作速度の既定値、理論値、および現在値を表示 メモリーの場合：メモリー動作速度の既定値、理論値、および現在値を表示

Performance > Bus Overrides

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Allow Simultaneous PCIe x16 Video Card (PEG) and IGD	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	この設定を有効にすると、x16 スロットに取り付けた PCIe x16 ビデオカード (PEG) とプロセッサ統合ビデオ (IGD) と同時に使用できます。
PCH Core Voltage Override	複数の電圧値	Configuration ページで Uncore/QPI Voltage の値を上げたとき、動作の安定性を確保するために PCI コア電圧の調整が必要となる可能性があります。
PCI Bus Frequency	情報のみ	PCI バスのクロック周波数を表示
PCI Express Bus Frequency	<ul style="list-style-type: none"> • 110MHz • 109MHz • 108MHz • 107MHz • 106MHz • 105MHz • 104MHz • 103MHz • 102MHz • 101MHz • Default 	PCI Express のクロック周波数を設定。古い PCI バスのクロック周波数はこの 3 分 1 に設定されます。

Performance > Memory Overrides

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
ECC Event Logging	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	ECC イベントのイベントログの有効または無効を指定
Memory Correction	<ul style="list-style-type: none"> • Non-ECC • ECC 	システムと搭載メモリーすべてが ECC (Error Correction Code) に対応している場合にエラーレポート機能のオン・オフ切り替え可能 この BIOS 設定は、ECC DIMM を搭載した ECC メモリー対応デスクトップ・ボードにのみ表示されます。

Performance Memory Profiles	<ul style="list-style-type: none"> • Automatic • Manual – User Defined • Profile x: XMP-Frequency 	<p>DIMM SPD の既定のメモリー設定の使用、手動でメモリー設定の変更、または XMP プロファイルの選択を実行</p> <p>Automatic: BIOS が全メモリー・パラメーターを自動的に設定</p> <p>Manual – User Defined: ユーザーがメモリーのパラメーターを自由にコントロール可能</p> <p>Profile x: XMP-Frequency: 選択した XMP プロファイルに従って BIOS がメモリーのパラメーターを設定</p>
Uncore Multiplier	数値	Uncore 周波数倍率は L3 キャッシュ、メモリー・コントローラー、統合グラフィックス・デバイス等のプロセッサ機能のパフォーマンスと安定性に影響を及ぼします。
Uncore Voltage Override	複数の電圧値	CPU Uncore 電圧調整の許可

Performance > Memory Overrides > Performance Memory Profiles

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
Command Rate	<ul style="list-style-type: none"> • Auto • 1T • 2T 	Auto: メモリーのモードに応じて調整。通常 2T が、より安定する設定です。
Memory Multiplier	<ul style="list-style-type: none"> • Auto • Multiplier: DDRx-Frequency 	<p>Auto: ホストクロック周波数、搭載プロセッサの対応周波数倍率、および DIMM が対応するメモリー周波数に基づいて BIOS がメモリー周波数倍率を選択</p> <p>Multiplier: DDRx-Frequency: BIOS は指定したメモリー周波数倍率を使用。これに伴って周波数倍率が選択されている場合、メモリーは表示されている動作周波数で動作します。</p>
Memory Voltage	複数の電圧値	メモリー電圧を変更すると、オーバークロックが可能になったり、メモリーの互換性が向上する場合があります。
System Agent Voltage Override	+/- で変更する値	システム・エージェント電圧を変更するとメモリーのオーバークロックが可能になる場合があります。
tCL	+/- で変更する値	CAS Latency: データ要求からリードまでのクロックサイクル数を選択
tFAW	+/- で変更する値	Four Active Window: 新しいバンクへの 5 番目の ACTIVE コマンドが発行されるまでの時間
tRASmin	+/- で変更する値	Minimum RAS Active Time: バンク・アクティベーションからプリチャージまでのクロックサイクル数を選択
tRC	+/- で変更する値	Row Cycle Delay: 同じバンクへの連続した ACTIVE コマンドの最小間隔を選択
tRCD	+/- で変更する値	RAS-to-CAS Delay: アクティベーションからリード/ライトまでのクロックサイクル数を選択
tRFC	+/- で変更する値	RAS Refresh: 行のリフレッシュからアクティベーションまでのクロックサイクル数を選択

tRP	+/- で変更する 値	RAS Pre-Charge: 新しい行へのアクセスに必要なクロックサイクル数を選択
tRRD	+/- で変更する 値	RAS to RAS Delay: 同じ列の次のバンクのアクティベーションに必要なクロックサイクル数を選択
tRTP	+/- で変更する 値	Read to Precharge Delay: 同じ列のリードコマンドからプリチャージ・コマンドに移行するまでに必要なクロックサイクル数を選択
tWR	+/- で変更する 値	Write Recovery: プリチャージからライトまでのクロックサイクル数を選択
tWTR	+/- で変更する 値	Write to Read: ライトから次のリードコマンドまでのクロックサイクル数を選択。tCL に関係しています。

Performance > Processor Overrides

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
CPU Idle State	<ul style="list-style-type: none"> High Performance Low Power 	<p>High Performance : オペレーティング・システムが常に最大倍率で動作するように強制</p> <p>Low Power : 周波数倍率を低く調節することを許可</p>
CPU Voltage Override	複数の電圧値	<p>プロセッサ電圧の設定</p> <p>警告 : この値を既定値から変更するとプロセッサの寿命短縮につながる恐れがあります。既定値の使用を強くお勧めします。</p>
CPU Voltage Override Type	<ul style="list-style-type: none"> None Static Dynamic 	<p>None: プロセッサは既定の上限値で電圧を管理</p> <p>Static: プロセッサは常に特定ユーザーが指定した電圧で動作</p> <p>Dynamic: ユーザー指定の上限値を用いて、プロセッサが電圧レベルを管理</p>
CPU VREG Droop Control	<ul style="list-style-type: none"> Low V-droop (Performance) Mid v-droop High V-Droop (Power Saving) 	より低い V-droop に設定すると CPU 供給電力が増加します。これにより発熱量が増大しますが、一方で CPU の安定性が高まる可能性があります。
Intel® Turbo Boost Technology	<ul style="list-style-type: none"> Enable Disable 	<p>Enable: 消費電力、電流、温度が制限値より低い値で動作した場合プロセッサ・コアをベース動作周波数より高速に実行できる</p> <p>Disable: Maximum Non-Turbo Ratio (最大非ターボ比率) を使用する</p>
Maximum Non-Turbo Ratio	数値	<p>最大非ターボ・プロセッサ速度 = 最大非ターボ比率 x ホストクロック周波数</p> <p>インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーを利用している場合、このパラメーターとホストクロック周波数でプロセッサの最大動作速度が決定されます。</p>

Performance > Processor Overrides > Intel® Turbo Boost Technology

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
1-Core Ratio Limit 2-Core Ratio Limit 3-Core Ratio Limit 4-Core Ratio Limit	数値	x 個のコアがアクティブのときインテル® ターボ・ブースト・テクノロジーが使用するプロセッサの最大倍率
Long Duration Power Limit Override (Watts)	数値	インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーは、Long Duration Power Limit Time Window で指定した時間中はこの電力制限を使用。
Long Duration Power Limit Time Window	数値	インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーは、Long Duration Power Limit Time Window では Long Duration Power Limit Override を使用 (秒で指定)
Short Duration Power Limit Override (Watts)	数値	インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーは、非常に短い時間にはこの電力制限を使用し、その後で Long Duration Power Limit に従います。
TDC Current Limit Override (Amps)	数値	インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーは、プロセッサがこの電流制限を超えて動作している場合、使用を停止します。
TDP Power Limit Override (Watts)	数値	インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーは、プロセッサがこの電力制限を超えて動作している場合、使用を停止します。

Power

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
After Power Failure	<ul style="list-style-type: none"> • Stay Off • Last State • Power On 	<p>電源損失 (例: 停電、AC コード抜け) から回復した場合の動作モードを決定</p> <p>Stay Off: 電源の復帰後、電源ボタンが押されるまで電源オフのままにする</p> <p>Last State: 電源損失の発生前の電源状態に復帰する</p> <p>Power On: 電源の復帰後、自動的にシステムの電源をオンにする</p>
CPU C States	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>CPU C ステートを有効または無効に指定</p> <p>有効の場合、C1 以下の C ステート情報をオペレーティング・システムに報告します。これにより、オペレーティング・システムがアイドル時には、電源消費と加熱を抑えるためプロセッサは低いステートに移行できます。</p>
Enhanced Halt State (C1E)	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>拡張 Halt ステートの有効または無効を設定。プロセッサは、C1E (Halt) アイドリング・ステートで消費電力を更に低減し、放熱も抑えることができます。</p>
Enhanced Intel SpeedStep® Technology	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>拡張版インテル SpeedStep® テクノロジー (EIST) の有効または無効を指定。有効にすると、システムはプロセッサの動作電圧とコア動作周波数を動的に調整し、平均消費電力の抑制、放熱の低減、静音化を実現します。</p> <p>SpeedStep の詳細については、次を参照してください： http://en.wikipedia.org/wiki/Speedstep</p>

OS ACPI C2 Report	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	OS ACPI C2 レポートの有効または無効を指定。有効にすると、BIOS は ACPI C2 ステートを報告します (プロセッサの C3 ステートにマッピングされる)。
PCIe ASPM Support	<ul style="list-style-type: none"> • Disable • Enable • PEG Only 	<p>Disable: すべての PCIe デバイスで ASPM サポートが無効になる</p> <p>Enable: すべての PCIe デバイスで ASPM サポートが有効になる</p> <p>PEG Only: ASPM は PCI Express Graphics (PEG) スロットに搭載したデバイスでのみ有効になる</p>
S1 State Indicator	<ul style="list-style-type: none"> • Off • Blink • On • Alternate Color 	システムの電源状態が S1 のときのフロントパネル LED の動作を決定
S3 State Indicator	<ul style="list-style-type: none"> • Off • Blink • On • Alternate Color 	システムの電源状態が S3 のときのフロントパネルの電源 LED の動作を決定
Wake on LAN from S4/S5	<ul style="list-style-type: none"> • Stay off • Power On – Normal Boot • Power On – PXE Boot 	<p>電源状態 が S4/S5 ときに Wake on LAN パケットを受信した場合の動作を設定</p> <p>Stay off: Wake on LAN パケットの受信してもシステムは S4/S5 から復帰しない</p> <p>Power On-Normal Boot: Wake on LAN パケットの受信後にシステムは S4.S5 から復帰し、通常起動を開始する</p> <p>Power On-PXE Boot: Wake on LAN パケットの受信後にシステムは S4.S5 から復帰し、PXE ブートを試みる</p> <p>オペレーティング・システムの LAN ドライバーでも Wake on LAN を有効にしなければなりません。Deep S4/S5 が有効になっている場合、この設定は無効となります。</p>
Wake system from S5	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	システムのウェイク・オン・アラーム・イベントの有効または無効を指定。有効にすると、システムは指定した日/時刻/分/秒に起動します。
Wakeup Date	数値 0 - 31	システムを起動する日付を選択。 0 にすると毎日起動します。
Wakeup Hour	数値 0 - 23	起動時刻を 24 時フォーマットで指定。 例 : 15 = 午後 3 時
Wakeup Minute	数値 0 - 59	システムが起動する分を指定
Wakeup Second	数値 0 - 59	システムが起動する秒を指定

Security

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
---------	-------	---------

Chassis Intrusion	<ul style="list-style-type: none"> • Disable • Enable <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disable • Log Only • Pause POST 	<p>シャーシの侵入検知機能の有効または無効を指定</p> <p>Disable: シャーシの侵入検知機能を見逃し、イベントを記録しない</p> <p>Log only: BIOS イベントログに項目を作成</p> <p>Pause POST: BIOS イベントログに項目を作成し、メッセージを表示</p>
Clear User Password	Continue? (Y/N)	<p>ユーザーパスワードのクリア</p> <p>この BIOS 設定はユーザーパスワードが設定済みの場合にのみ表示されます。</p>
Hard Disk Drive Password	情報のみ	ハードディスク・ドライブ・パスワードが設定されているかどうか報告する
Intel Trusted Execution Technology	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>インテル® トラストド・エグゼキューション・テクノロジーの有効または無効を指定。このハードウェア・ベースの保護メカニズムを利用すると、ソフトウェア・ベースの攻撃を防ぎ、データの機密性や整合性を保護できます。</p> <p>インテル® TXT が有効の場合、インテル® VT、インテル® VT-d、インテル® HT、プロセッサの全コア、およびオンボード TPM も有効になります。インテル® TXT が有効である場合、この機能を無効にしてから、上記の必要機能を無効にしてください。</p> <p>トラストド・エグゼキューション・テクノロジーの詳細については、次を参照してください： http://www.intel.com/jp/technology/security/</p>
Intel® Virtualization Technology	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>バーチャライゼーション・テクノロジーの有効または無効を指定。 設定の変更には電源の入れ直しが必要です。</p> <p>詳細については、次を参照してください： http://www.intel.com/jp/technology/virtualization/index.htm</p>
Master Key Hard Disk Drive Password	情報のみ	マスターキー HDD パスワードが設定されているかどうか報告する
Set Hard Disk Drive Password	ユーザー定義	<p>HDD パスワードの設定</p> <p>HDD パスワードを作成した場合、起動時オペレーティング・システムにアクセスする前に必ず入力しなければなりません。オリジナルの HDD パスワードなしには、リカバリーもできず、パスワードを削除することもできません。HDD パスワードまたはマスターキー HDD パスワードを入力するまで、ドライブにはアクセスできなくなります。</p>
Set Master Key Hard Disk Drive Password	ユーザー定義	<p>マスターキー HDD パスワードの設定</p> <p>マスターキー HDD パスワードは、HDD パスワードを忘れた場合にドライブのロックを解除するためにのみ使用します。マスターキー HDD パスワード自体は、ドライブをロックしません。オリジナルの HDD パスワードなしには、リカバリーもできず、パスワードを削除することもできません。HDD パスワードまたはマスターキー HDD パスワードを入力するまで、ドライブにはアクセスできなくなります。</p>

Set Supervisor Password	ユーザー定義	<p>スーパーバイザー・パスワードの設定</p> <p>スーパーバイザー・パスワードは全てのセットアップ・オプションの表示および変更に対し、無制限のアクセスを付与します。スーパーバイザーパスワードのみが設定されている場合、BIOS セットアップのパスワードプロンプトで <Enter> キーを押すとセットアップに対して限定されたアクセスが与えられます。スーパーバイザー・パスワードとユーザーパスワードの両方が設定されている場合、BIOS セットアップへのアクセスにはいずれかのパスワードを入力しなければなりません。入力したパスワードの種類に従って、各セットアップ・オプションの表示または変更が可能になります。</p>
Set User Password	ユーザー定義	<p>ユーザーパスワードを設定</p> <p>ユーザーパスワードを設定すると、コンピューターを起動できるユーザーが制限され、コンピューターの起動前には、パスワードプロンプトが表示されます。スーパーバイザー・パスワードのみが設定された場合、コンピューターはパスワードを要求せずに起動します。スーパーバイザー・パスワードとユーザーパスワードを共に設定した場合、いずれかのパスワードによってコンピューターを起動できます。</p>
Supervisor Password	情報のみ	スーパーバイザー・パスワードが設定済みかどうか報告
User access Level	<ul style="list-style-type: none"> • Full • Limited • View Only • No Access 	<p>User Access Level はユーザーパスワードを入力したときに許可される BIOS Setup へのアクセス・レベルを決定</p> <p>Full: ユーザーパスワードにより User Access Level を除くすべての質問にアクセスを許可</p> <p>Limited: ユーザーパスワードにより、Time/Date/Language/User Password オプションにアクセス許可</p> <p>View Only: ユーザーパスワードにより、Language のみにアクセスを許可し、変更は保存できない</p> <p>No Access: セットアップへのアクセスにユーザーパスワードを使用できない</p> <p>この BIOS 設定はスーパーバイザー・パスワードが設定済みの場合にのみ表示されます。</p>
User Password	情報のみ	ユーザーパスワードが設定されているか報告
XD Technology	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>エグゼキュート・ディスエーブル・ビット・テクノロジーの有効または無効を指定。</p> <p>エグゼキュート・ディスエーブル・ビット機能は、対応するオペレーティング・システムを組み合わせることで、悪意のある特定の「バッファオーバーフロー」攻撃の防止に役立ちます。</p> <p>詳細については、次の参照してください http://www.intel.com/technology/xdbit/</p>

Security > Intel® VT for Directed I/O (VT-d)

BIOS 設定	オプション	説明 / 目的
ATS	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	非 Isoch VT-d エンジン・アドレス変換サービス (ATS) サポートの有効または無効を指定

Coherency Support	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	非 Isoch VT-d エンジン・コヒーレンシー・サポートの有効または無効を指定
Intel® VT for Directed I/O (VT-d)	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	<p>Directed I/O (VT-d) 向けインテル® VT の有効または無効を指定。この機能は、I/O 仮想化の管理にハードウェア・サポートを追加します。有効の場合、BIOS は DMA リマッピング ACPI 表を発行します。</p> <p>インテル® VT の詳細については、次を参照してください：http://www.intel.com/technology/advanced_comm/virtualization.htm</p>
Interrupt Remapping	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	VT-d 割り込みリマッピング・サポートの有効または無効を指定
Pass Thru DMA	<ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable 	Isoch/非 Isoch VT-d エンジン・パススルー DMA サポートの有効または無効を指定